

# 平成 30 年度 長崎市自然環境調査報告書：昆虫類

長崎市自然環境調査員 田 中 清

今年は、新たに伊王島・沖ノ島と昨年報告した長崎市いこいの里「あぐりの丘」を継続調査しました。その概要についてお知らせします。

## 1 伊王島

伊王島・沖ノ島は長崎港の入り口に位置しています。炭鉱の島として栄え、1962年の人口は7,300人を数えましたが、1972年の炭鉱閉山により人口は減少していきました。2005年1月には西彼杵郡から長崎市に編入されました。そして、2011年には伊王島大橋が開通してリゾート地としての開発も加速しています。しかし、人口減少には歯止めがかからず、2018年1月の人口は691人となりました。さらに、伊王島小学校は2019年3月で閉校となります。

長い間、伊王島・沖ノ島までは長崎港から船で行くしかなかったせいもあり、これまでこの地の昆虫については、まとまった報告がありません。楠井(1992, 1993, 1994a~c)、池崎(2007)、中村(2007)の報告がありますが、これらはゴキブリ目、半翅目、鞘翅目、双翅目、膜翅目、鱗翅目の一部に関するもので、その総数は41科193種で、大部分は楠井によるものです。

これらの状況をふまえ、昆虫に関する基礎資料を得る必要があると考え、2018年の調査地を伊王島・沖ノ島に選定しました。

### (1) 調査期間及び方法

期間は30年1月~12月(毎月)。方法は見つけ取り、スweeping法、叩き網法、石起こし、灯火採集などを行ないました。なお、調査は深川元太郎氏(長崎市自然環境調査員)と長崎北高等学校理科部と共同で実施しました。

### (2) 調査結果及び考察

筆者が採集した種のみについて概要を報告します。今回、文献の約2倍にあたる66科196種を新たに確認しました。それで、これまでの確認数は107科362種になりました。

#### ①主な追加は以下のとおりです。

蜻蛉目：4種 竹節虫目：2種 蟻螂目：4種 ゴキブリ目：1種  
直翅目：28種 半翅目：26種 脈翅目：4種 鞘翅目：24種  
膜翅目：24種 双翅目：19種 鱗翅目：54種

#### ②特定種

長崎市レッドデータリストにある特定種は3種を確認しました。

アオカナブン(EN) ヤマトタムシ(NT) ニホンホホビロコメツキモドキ(NT)

#### ③特筆すべき種

○ツチトリモチマダラメイガ

トベラの根に寄生するキイレツチトリモチのみを食害するメイガの1種です。

○アワダチソウヒゲナガアブラムシ

外来種であるセイタカアワダチソウのみを吸汁する赤いアブラムシです。

#### ④外来種

長崎市の外来種リストにある国外外来種を6種確認しました。

アオマツムシ(A2) アワダチソウゲンバイ(A2) クロマダラソテツジミ(A2)

ラミーカミキリ(A3) ヨツモンカメノコハムシ(A3) ツマアカクモバチ(ツマアカベッコウ)(A3)

以下にいくつかの種を紹介します。



ヤマトタムシ



アオカナブン(左)



ニホンホホヒロコメツキモドキ



ツチトリモチマダラメイガ



アワダチソウヒゲナガアブラムシ



クロマダラソテツジミ



ヨツモンカメノコハムシ



ラミーカミキリ



アワダチソウゲンバイ

## 2 長崎市いこいの里「あぐりの丘」

昨年、1579種について報告しましたが、今年も調査を継続し、さらに36種を追加できました。その中の特筆すべき種と迷蝶を紹介しておきます。

### (1) 特筆すべき種

#### ①ヒメアケビコノハ

長崎では33年ぶりの記録です。8月16日に1頭を採集しました。

#### ②アカツヤハシリカスミカメ

南方系の種で、奄美王島が分布の北限とされていましたが、7月～11月にかけて採集されました。長崎で繁殖している可能性が大きく、今後の研究が必要です。

### (2) 迷蝶

#### ①リュウキュウムラサキ

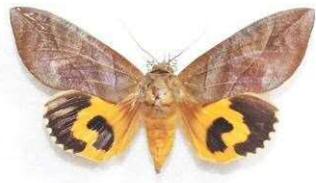
8月26日にランタナで1頭を採集しました。

#### ②メスアカムラサキ

9月10日、♀1頭が地面に止まっていた。残念ながら取り逃がしました。

#### ③アオタテハモドキ

9月15日、♂1頭が地面に止まっていたので、採集しました。



ヒメアケビコノハ



リュウキュウムラサキ



アオタテハモドキ

#### 主な参考文献

楠井善久(1992) 離島に多い? ノコギリカメムシ, こがねむし(53):32-33, 長崎昆虫研究会.

楠井善久(1993) 伊王島の甲虫採集記録, こがねむし(54):36-40, 長崎昆虫研究会.

楠井善久(1994a) 伊王島の甲虫採集記録第2報, こがねむし(55):5-14, 長崎昆虫研究会.

楠井善久(1994b) 伊王島のゴキブリ類, 長崎県生物学会誌(40):76-78, 長崎県生物学会.

楠井善久(1994c) 伊王島のカメムシ類, 長崎県生物学会誌(40):79-80, 長崎県生物学会.

池崎善博(2007) 平成17年(2006年)長崎市の自然環境調査から, こがねむし(72):51-56, 長崎昆虫研究会.

中村真哉(2007) ヤシを枯らす巨大ゾウムシはどこからきたのか?, Newton(1月号):130-131. ニュートンプレス.

江島正郎(1984) ヒメアケビコノハ長崎港で採集, こがねむし(43):35, 長崎県生物学会.

安永智秀・高井幹夫・中谷至伸(2001) 日本原色カメムシ図鑑第2巻p154, 全国農村教育協会.